

輝く将来の多久市 ～これらからの5年間～

新たな時代潮流

急速な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口過度の集中をさけ、住みよい環境を確保することや、子ども、子育て家庭への支援を地域・学校・行政など社会が一体となって行うことが求められています。さらに、東日本大震災や原子力発電所事故など大規模な災害、子どもや高齢者を巻き込んだ事件・事故が増えている中、みなさんの安心、安全に関する意識も高まっています。

また、インターネットの普及に伴い、誰もがさまざまな情報を瞬時に受信できる時代となり、市民生活の利便性の向上とともに、情報セキュリティの確保や情報格差の解消など、高度情報化に対応したまちづくりも必要とされています。

市民の満足度 & 重要度は？

重要と考えられること

- 医療体制の充実
- 上水道の充実
- 子育て支援の充実
- 健康づくりの推進
- 高齢者支援の充実

改善が期待されること

- 商業の振興
- 工業の振興
- 観光の振興
- 都市・住宅基盤の整備
- 土地の有効活用

市民 2,000人にアンケート調査！
(うち 611人が回答) ※満18歳以上を対象

これを踏まえて！

新たな取り組みを追加

① 教育・子育て

- 「コミュニティ・スクール」の導入・推進
- 子育て支援拠点づくり

② 文化・スポーツ

- 多久聖廟を中心とした日本遺産認定への取り組み
- スポーツ施設の設備

③ 健康、医療、福祉

- 多久地区住宅医療連携ネットワークの充実
- 生活困窮者への支援

④ 安全・環境

- 廃棄物処理施設及びリサイクル施設の整備
- 新たな土砂災害ハザードマップの作成・配布

⑤ 持続可能なまち(地域)づくり

- 新規就農者の確保と集落営農組織の支援
- 地域おこし協力隊、集落支援員制度の活用
- マイナンバー制度の活用
- ICTの利活用

とくに

ココに注目！



子育て支援拠点づくり

旧北部小学校跡地を利用して、児童館、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターなどを集約した総合的子育て支援の拠点となる施設をつくります。

観光の振興



温泉保養宿泊施設の平成29年度再開を目指します。雇用確保や地域資源を活用し、観光コースに取り入れ、活性化につなげます。

多久市総合計画審議会委員より

5回の審議を重ね、審議会委員20名それぞれの立場で活発なご意見、ご提案をいただき、後期基本計画を無事にまとめ、答申することができました。後期5年間は、ゆうらくの跡地活用や駅前の活性化など観光資源を活かした多久らしいまちづくりに期待しています。市の将来像の実現のため、市民の皆様のお力添えをお願い致します。

審議会会長 /
ふじた かずひこ
藤田 和彦さん



多久市に移り住み家族と暮らす中で、「もっと多久を盛り上げたい」という思いが強まり応募させていただきました。満18歳までの医療費拡大については、子育てを経験した私にとっても大きなポイントでしたし、後期では子育てや教育に関する取り組みに注目しています。市の将来像実現に向け、今後力になればと思います。

公募委員 /
ひよし けいこ
日吉 敬子さん



▶問い合わせ
総合政策課 企画係 ☎75-2116